

第23回企業短観調査 (2020年12月)

調査結果

(1) 回収状況

業種	対象事業所数	有効回答数 (回収率)
卸売業	39	5 (12.8%)
建設業	254	18 (7.1%)
小売業	506	20 (4.0%)
サービス業	382	24 (6.3%)
製造業	122	17 (13.9%)
全業種	1,303	84 (6.5%)

考察

- 売上・収益・資金繰り状況は前回調査と比べ、横ばいであった。イベントの自粛や来客数の減少により売上減少に歯止めがかからず、再度融資を検討する事業所も出ている。
- サービス・宿泊業においては大きな打撃となる予想もされる。飲食業も忘年会や新年会の自粛といったコロナの影響が響くと予想。
- 小売業においては今冬の豪雪により、除雪用品の売れ行きは好調であるが、コロナと豪雪が相まって外出を控える向きがあり衣料品を中心に鈍い動きとなっている。
- これから年末年始を迎え、帰省による感染者の増加が懸念される。感染者数の推移によって景気が左右されるので、動向を注視していきたい。

